掛川地区更生保護女性会便り

平成２３年　８月３１日
第　　８　　０　　号

ご　挨　拶

会長　冨田 とみ子

今こそ、私たちは愛の手をつなぎましょう

忘れられない3月11日。東日本大震災、大津波で亡くなられた方々や多くの行方不明者に心を痛め、ご冥福をお祈りいたします。その上、原子力発電による被害などで余儀なく避難生活をされている方々に一日も早くもとの暮らしへと復帰されますよう、お祈りし、お見舞い申し上げます。

去る5月16日、ご来賓のみな様のご臨席の上で平成23年度総会を催しました。これもひとえに本年度新会員14名をお迎えし、総勢141名のみなさんのご協力のお陰です。又忘れてはならない前会長はじめ、陰ひなたなく会の為にここまでご尽力下さった役員の方々のご功績の賜りと感謝いたします。

申し遅れましたが、人望深い前会長が勇退され、思いがけなく後任をということで戸惑いと何か事あるごとに重責を強く感じている私です。伝統ある掛川地区の誇りを守り、みなさんと一緒になって、今より少しでも安心して暮らせる地域にしたく努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

普通に産れ、育ってきた子、又は成人した人がちょっとしたボタンの掛け違いで罪を犯かしてしまい、罪をつぐない、一般社会に戻る時どんな思いでしょう。又私達はどのように見守り、受け入れたらいいのでしょうか？　仮釈放保護観察中の人の再犯事犯が多いと聞き心が痛みました。本人の生き方が一番大切でしょうが、私達一般社会にも問題があるのでは？と責任を感じてしまいます。これはとても重い課題だと思いますがせめてハートの片隅に「思いやりの心と、時にはいけない光景を見たらソっと注意する暖かい勇気」を持っていたら、いつか彼らに伝わり更生してくれるのでは？と小さな望みを持って活動をして行きたいと思っています。

平成23年度法務省の主唱「**やり直せる社会に賛成です**」
人は誰にでも再出発のチャンスは与えられると思います。これこそ「更生」です。
みんなで新たに出来た「身分証明書」を胸から下げていきいき活動して参りましょう！

平成23年8月31日

中山冨美江さんが法務大臣感謝状を受賞しました

長年、更生保護活動に尽力されてきた中山冨美江さんがその功績をたたえられ、平成23年6月8日(水)第48回「日本更生保護女性の集い」において法務大臣感謝状を授与され、掛川市長へ報告した様子が新聞に取り上げられました。

平成23年7月2日　静岡新聞

この人

長年の更生保護活動で法務大臣感謝状を受賞

中山（なかやま）　冨美江（ふみえ）さん（掛川市）

予育て支援や更生保護などの活動を続けて34年。掛川地区更生保護女性会の会長、顧問を歴任し、少年院や大勢の子どもたちと接してきた。森町出身。75歳。

―どんな活動を続けてきたのか。

「専門学校の教師を引退した後、掛川市更生保護婦人会（現・更生保護女性会）に入った。活動は、少年院で行事があった際に慰問したり、更生保護施設で料理を提供したり。その中で大勢の子どもたちと接したが、どの子も犯罪とは無縁に思えるほど素直だった」

―感謝状を受けた感想は。

「自分がもらえるとは思っていなかったので、びっくりした。大勢の人に支えられ、活動を長く続けることができた。感謝状はそのおかげだと思っている」

―今後も活動は続けていくのか。

「今は第一線から離れたが、しっかりと支えたい気持ちはある。34年前は市内で1500人いた会員が、今は140人。後継者が育ってほしい」

◇

二宮尊徳の「報徳の精神」を重んじる。

その他、中日新聞、郷土新聞でも取り上げられました

義援金・寄附の報告

★	東日本震災への義援金	５６，６３５円	静岡更生保護女性会へまとめて
★	一円募金　掛川地区	１６，６０６円	「少年の家」へ
★	「更女の茶」	９１，０００円	

うち　50円×130袋＝6,500円
掛川地区活動費として受領しました
∴振込84，500円　県→少年の家

みなさんの暖かいご協力に暑く御礼申し上げます。

地道な活動の中で

掛川地区副会長　永田　謡子

3月11日東北地方を襲った来曽有の大震災に心より、お見舞い申し上げると共に更女の組織はあるのかとか、あれば会員の方達の被害はとか、どんな活動支援をしたのかとか、様々な思いがかけめぐりました。

私達の活動は自発的に参加するボランティア団体で保護司の方達との合同研修会等で直接犯罪や非行にはしった人達の更生への道案内のお仕事をしている大変さをお聞きしますが私達は直接かかわりあう事はありません。しかし、日頃の生活の中で常に青少年健全育成の大切さを念願におき地味な活動であっても大切な役割を担っていると思い頑張っています。

今更女の会員は高齢者が多く新会員登録者が少ないのが悩みのひとつです。更生保護女性会が先細りにならない為に今どんな手段があるのか模索しながらこの1年をすごしてまいりたいと思っています。会員の皆様のご協力、ご提言をお待ちしています。

更生だより

大東地区副会長　雑賀　雅子

平成23年度、24年度の2年間更生保護女性会掛川支部の副会長を務めさせて頂く事になりました。微力ではありますが一生懸命がんばりますのでよろしく御協力の程お願いいたします。前期の2年間は理事という役目乍ら諸先輩の後でのんびり活動して参りましたが本年度は俄かにその責任の重さを感じるようになりました。更生保護の活動は実際のところ地味で地域の方々にもわかりにくく浸透性が乏しいところがあります。新会員の入会率も低く啓蒙活動もいまいち二の足を踏んでいるように見受けられます。

全国、又、県、各支部での課題を読ませて頂いても共通の悩みをお持ちのようです。

しかし嘆いてばかりでは前に進めません。とに角、会員が活動する事です。女性の立場から人と人が尊重され心豊かに生きられる社会に少しでも貢献できるようボランティア精神に則って活動いたしましょう。私達会員が気持ちを揃えて動いていれば、「私も仲間に入れて下さい」「一緒に手伝わせて下さい」と云って下さる人があるかも知れません。そんな会になりたいですね。

大須賀支部副会長をお受けして

大須賀地区副会長　大石　久美枝

私が更生保護女性会へ入会させて頂いたのは、平成6年民生児童委員会に主任児童委員制度が出来、任命に与ずかり16年余が経過致しました。

その間多くの会員の皆様との出会いを頂き感謝の気持ちで一杯でございます。

保護司会との研修会視察旅行ふれあい広場等いろいろ体験させて頂きました。

私は副会長の器ではございませんが更生保護女性連盟掛川支部の連絡役と致しまして、2年間努めさせて頂く所存でございます。

皆様のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。さて、今年総会終了後に、ある女性の体験談をお聴きする事が出来ました。

自転車の二人乗りをした事が切っ掛けのどこでも起き有る。そして私も見掛けた事の有る自転車の二人乗り。思春期の心のコントロールが難しい時期サポートの難しさを感じさせられました。会員の皆様もそれぞれの立場でお聴きになり今后の活動に生かして頂けたらと思います。何より良かった事はご自身が今１児の母となり自分を信じて支えてくれた人と幸せな家庭生活を送っておられる事です。ご自分の体験を通して社会に役立ちたいともおっしゃておられました。頑張って欲しいと思いました。

静岡県青少年の非行・被害防止強調月間　街頭キャンペーンに参加して

掛川支部　大谷　よし

平成23年7月1日（金）は更生保護の日であり社会を明るくする運動月間の始まりです。又、今年のスローガンは”やり直せる社会に賛成です”との事で街頭キャンペーンに参加させて頂きました。

１．日　　時　　7月1日（金）　17時15分～18時30分

２．主　　催　　掛川市青少年健全育成会
　　社会を明るくする運動掛川市地区推進委員会

３．共　　催　　静岡県たばこ販売協同組合連合会

４．目　　的　　７月は「静岡県青少年の非行・被害防止強調月間」「社会を明るくする運動」により青少年の非行・被害防止について、市民が理解を深め、さらに関係機関と市民とが相互に協力し、地域が一体となって青少年の非行・被害防止のために取り組む意識を譲成することを目的とする。

５．参加団体　　掛川市・掛川市議会・掛川警察署・区長会連合会・地区生涯学習センター連絡協議会・民生委員・児童委員連絡協議会・掛川地区高等学校校長会・掛川市小中校長会・市内小中高ＰＴＡ協議会・保護司会・更生保護女性会・赤十字奉仕団等の26団体で掛川西中学校の野口校長が生徒さん10名余りも協力参加して下さった事には頭が下がりました。

６．内　　容　　広報啓発活動

①啓発チラシ、啓発グッズの配布

②のぼり旗、立て看板の設置でした。

７．活動場所・参加人員

	掛川駅周辺	49人
掛川地域	掛川アピタ駐車場	38人
大東地域	大東ショッピングプラザ駐車場	61人
大須賀地域	大須賀ロックタウン駐車場	47人
	計	195人

約　200人弱でした。

つゆの中休みで秋風の様な風の吹く半日でした。

市長はじめ皆さん、明るく元気に真剣に行動し時間内に全部お渡し出来た事、受け取って下さる方も心良く受けて下さった事に感謝致しました。

しかし一つ気になる出来事に逢いました。

キャンペーンが始まってすぐに、中年の男性に私は声をかけられました。実は窃盗罪で刑務所に入り5年の刑を終えて1週間程前に出所して来たところだと言うのです。気の弱そうな人に見えましたので、私はとっさに「お帰りなさい、ご苦労様でしたね」と手を取りましたと、途端に近くのおばさんが大声を出しましたので、詳しい事も聞かずにそのままになりました。

きっと保護司の先生が彼の力になってくださるのだろうと思います。やり直せる社会に賛成ですから。

新会員研修会に参加して

大東支部　山下　幸代

退職後に、なにか私でもできる社会参加はないかと考えていたら、知り合いの会員さんから入会のお誘いを頂、軽い気持ちで入れていただきました。入会はしたものの、更生保護などという難しい名前に、場違いの世界に迷い込んだような不安を感じていましたが研修会に参加させていただき、少しながら不安の解消が出来ました。長い歴史のある会である事も改めて知りました。

今後は、研修会で学んだことを参考に、自分の出来ることで微力ながら社会のお役に立てればと思いました。

新会員研修会に参加して

大東支部　鳥井　鈴江

前日までは大型台風6号の接近で開催が心配されておりましたが、予想外のコースをとり幸いにも被害もなく、朝からカラリと晴れて真夏の再来となりました。まるでこの研修会を後押ししてくれている様でした。

私共掛川市大東支部より5名にて浜松市福祉交流センターに向かいました。初めて左胸に付けた更女のバッチの重みにいささかの不安を感じながら会場へ入りました。

すでに100名程のお仲間が指定席に付かれており、どこか緊張の雰囲気が漂っておりましたが、それも、つかの間で会長様の穏やかな口調や笑顔、所長様の朗らかなお人柄、役員の方々の心遣いにより和らいでいきました。

午前中は県更女連盟会長様、県保護観察所長様の講話を伺い、更生保護の意味や機関のしくみ、犯罪や非行の現状、更女の役割や活動内容など基礎的な知識や現状を学びました。1年間に県内で4万件もの犯罪が発生している事、中でも窃盗が1番多い事、未成年者による犯罪や非行、幼児虐待など、一見平和に見える世の裏側で起きている悲しみと孤独な人の現実を知らされました。これらの発生の源は家庭や人間関係のこじれなど身近な所にあったり、些細な原因によることも少なくない様です。

決して他人事ではなく、いつ我が家が発生源になる事も不思議ではないと思いました。

午後は５つのグループに分かれて、各地区ごとに活動されているビデオを観て研究討議がされ、20名程度が1人ずつ感想を述べました。新会員には民生委員さんも多くおられ、日頃の経験豊かな体験談を伺うことが出来ました。どこの地区でも地域に根指した尊い活動がされており、地味な粘り強いご協力に感動し頭が下がる思いでした。

研修会はいよいよ終盤となり、全体会にて質疑応答、講評などをいただき、無事終了となりました。

人生は一度しか有りません。誰もが幸せになる権利が有ります。両親にもらった体を大切にして、自分らしく前向きに精一杯生き抜きたいものです。不幸にして犯罪の道に迷い込んだ方々は本来の自分の取り戻してほしい！１日も早く更生していただけるよう、微力ではありますが、皆様と共に最善を尽くす決意を致しました。

新会員研修会に参加して

大東支部　末永　たえ子

私は、7月21日に更生保護女性連盟新会員研修会に参加させていただきました。

研修会では、更生保護についての説明や、活動等についてのお話しを聞かせていただきましたが、今後、更女として責任ある活動が自分にできるのか不安になってしまいました。

午後から行われたグループ討議では、各地区からの参加者がそれぞれの活動状況や、悩み等を活発に話し合いました。

仕事を持っていると、ボランティア活動や研修会等になかなか参加できず、この会に入会して良かったのか悩んでいる方が数人おりました。

地域での触れあいで、あいさつをしたり、子育てに悩む若いお母さんに自分の体験談を話したり、本当に身近なところで、自分にできる活動を無理のない範囲でやっていけばいいのではないかと助言をいただき、同じ悩みを持つ私も、気持ちが楽になりました。

これからはどこまで協力できるのかわかりませんが、更生保護について勉強しながら、私なりに活動させていただきたく思います。

この研修会に参加するに当たり、支部会員の方々とも親睦を深めることができ、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

ありがとうございました。

研修会参加～新会員としての覚え～

大東支部　岩倉　ひろ子

去る7月21日心配された台風も進路変更で南海へ今回も強風と豪雨で被害を受けた地域もあり、自然の凄まじさと人間の脆さを見せつけられた。

そんな後日浜松で開かれました。予定時間10:30～15:30まで、諸々の研修内容でした。

私は4月入会、総会参加とその後の時間の経過はすれど皆目わからぬ更女の会でしたが、早期にこの研修会が実施され参加する事で全体的な組織・内容等が表面的ではあるが理解出来た思いです。今後先輩達の導きと体験又自己研鑽に依って本末の目的がわかってくるのではないだろうか。

堀会長さん講話より

◎どのような経過の入会であってもこの会はボランティアであると云う事、自分から率先して行動する。押しつけでなく、自主的に支援する。その際、ボランティアとしての精神を保持し活動する事が大切であると。そこには勿論”守秘義務”が科せられる事を忘れてはならない。何げない一言が人を傷つける安易な言動は極力避けたいものです。

◎地域の環境の中に更生の心”ボランティアの意義”を広げる→直接的なふれあい

◎活動は出来る時に出来る人が出来る事をする→その中心は心ある人が大切

◎会員の力で会は育つ

等印象深いことばでした。

更女の会は保護司さんとは異なり、犯罪者、非行少年達との直接的な関わりはなく、間接的なふれあいであるが互いに心の交流は可能であると感じました。

今後は地域に於てミニ集会等実施する事で先輩達との交流を広め一つ一つを深め知る事が出来れば幸いです。

新会員研修会に参加して

大須賀支部　金原　義子

7月21日浜松市福祉交流センターでの研修会に参加をいたしました。

お誘いを受けた時、更女保護女性会という言葉を始めて聞き、私に何が出来るかしらととても不安でした。

今回、研修会に参加してビデオ、グループ討議がありその中で皆さんがそれぞれの地域において積極的な活動をしている事を聞き感動しました。

会長さんが更女とは、地域の中に思いやりの心をもつことと言われました。私でも、何か役に立てる事があれば地域にあった活動が出来ればいいなあと思っています。

新会員研修会に参加して

大須賀支部　大石　幸恵

ゴミ出しの帰り、普段思いがけない女の子が遠くから「おはようございます。」と気持ちの良い挨拶をしてくれました。嬉しくなって、私も「おはようございます。」挨拶を返しました。見ると、手にプールバックを持っていました。「小学校は夏休み。プールが始まったんだ！！」と思い、「今からプール行くの？」と聞くと、「うん。」と答えてくれました。「みんなの来るのを待っているんだね。行ってらっしゃい」と、とりとめのない会話をして帰宅しました。

他人には、挨拶をしない子が多い中で、「自ら挨拶のできる子」のいることを嬉しく、又将来を頼もしく思いました。

さて、更女活動がわからないままに入会させていただきましたが、今回の新会員研修会に参加して、ビデオ「ひろげる」の視聴や、グループ討議でのみなさんのお話から、更女活動の内容が少しわかったような気がしました。

第4グループでは、「小学生や中学生へのあいさつ運動」「登下校の児童の安全見守り活動」「学童保育等の子育て支援」「託児ボランティアへの参加」等々各地区で、様々な活動をされているお話を伺いました。頭の下がる思いでいっぱいでした。同時に私も、更女の仲間入りをさせていただいたことを嬉しく思いました。

これを機会に、地区のみなさんから少しずつ教えていただきながら、学んでいきたいと思います。よろしくお願いします。